

平成30年度大野南地区まちづくり会議 第5回全体会【会議結果】

日 時 平成30年7月26日(木)
午後2時から午後3時40分
場 所 南区合同庁舎 3階 講堂
委 員 出席人 16人
欠席人 9人
傍聴者 0人

1 開会(事務局:大野南まちづくりセンター所長)

2 会長あいさつ

3 自己紹介

4 議題

(1) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

事務局より

- ・大野南地区単位自治会夏祭り一覧表のとおり夏祭りが開催される。
- ・相模大野自治会・鶴の原自治会の夏祭りは台風により中止が決定している。
- ・7月28日、29日に「プレもんじえ」が開催される。
- ・8月18日に「上鶴間地区ふるさとまつり」が開催される。
- ・まるごとオーノが発刊された。

大野南地区社会福祉協議会より

- ・7月30日に「こども映画会」が開催される。
- ・南区地域福祉交流ラウンジで各種サロンが「サロンのご案内」のチラシの日程のとおり開催される。
- ・大野南地区社協だよりが発刊された。

学校法人相模女子大学より

- ・8月1日、2日に「プログラミング体験教室」が開催される。
- ・8月7日に「キッズサマースクール」が開催される。
- ・8月11日、12日に「相模大野こどもまち」が開催される。
- ・8月15日に「相模原薪能」が開催される。
- ・「秋季さがみアカデミー」がチラシの日程のとおり開催される。

相模原市立大野南公民館より

- ・ 9月22日に相模原南市民ホールで「第13回大野南クラシックコンサート」が開催される。

医療法人社団仁恵会黒河内病院より

- ・ 8月5日から毎週「いきいき百歳体操」が開催される。

(2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について

経過

資料に基づき、会長から説明を行った。

主な意見・質疑等

特になし。

結果

原案のとおり承認された。

(3) まちづくり懇談会について

経過

資料に基づき、事務局から説明を行った。

主な意見・質疑等

- ・ 防災と子育て環境の2本柱でテーマを絞ってはどうか。

防災のテーマについては、総論と公助のあり方について

子育て環境のテーマについては、全体的な趣旨や公園、子どものひろばやふれあい広場の管理者やルールの違いなどについて

- ・ 過去の懇談会のテーマについて検討すると回答された案件について、現在の状況について確認していただきたい。

担当課に確認する。

- ・ 未消化の案件も含めてテーマを検討していきたい。

結果

方向性について承認された。

今後詳細について検討していくこととする。

(4) その他

- ・ 事前キャンプの情報など大野南地区が関係するオリンピックパラリンピックの情報について提供していただきたい。

情報規制の問題等もあるため、担当課と調整しながら、今後提供できる情報について、まちづくり会議で報告する。

次回の全体会は、平成30年8月7日(火)午後2時からとする。

以上

平成30年度大野南地区まちづくり会議第5回全体会出席委員名簿

(出席者16名 欠席者9名)

番号	団体名	団体での役職	氏名	出欠席
1	大野南地区自治会連合会	会長	大木 恵	出席
2		副会長	古木 幸一	欠席
3		副会長	渋谷 典彦	出席
4		副会長	瀬戸 量平	出席
5		前会長	有泉 健一	出席
6	大野南地区社会福祉協議会	会長	中島 千尋	出席
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会長	青木 智野	出席
8	女子大通り商工振興会	会長	河内 文雄	欠席
9	相模大野北口商店会	会長	斎藤 誠	欠席
10	相模大野銀座商店街振興組合	事務局長	大木 茂行	出席
11	相模大野南新町商店街振興組合	副理事長	山科 公次	欠席
12	ポーノ会	役員	田中 修	出席
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	理事	後藤 一郎	出席
14	相模原市立谷口台小学校PTA	会長	金子 清美	出席
15	相模原市立南大野小学校PTA	会長	倉澤 正人	欠席
16	相模原市立谷口中学校PTA	副会長	渋谷 雅子	出席
17	学校法人相模女子大学	理事(事務局長)	速水 俊裕	欠席
18	大野南地区老人クラブ連合会	副会長	畠山 秀美	出席
19	相模原市立大野南公民館	館長	中村 洋子	出席
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	稲毛 易子	欠席
21	大野南地域包括支援センター	管理者	田中 宣行	出席
22	上鶴間地域包括支援センター	管理者	今井 英子	出席
23	経験有識者		新村 玲子	欠席
24	公募		宗形 貴介	出席
25	公募		吉田 涼夏	欠席

大野南地区まちづくり会議 第5回全体会 次第

日 時 平成30年7月26日(木)
午後2時から
場 所 南区合同庁舎 3階 講堂

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

- (1) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について
- (2) 地域活性化事業交付金申請に対する意見について.....資料1
- (3) まちづくり懇談会について.....資料2
- (4) その他

今後のまちづくり会議開催予定

第6回全体会：8月 7日(火)午後2時 南区合同庁舎 3階 講堂

第7回全体会：8月28日(火)午後2時 南区合同庁舎 3階 講堂

大野南地区まちづくり会議委員名簿

(平成30年6月19日現在：敬称略)

番号	団体名	団体での役職	氏名	役職
1	大野南地区自治会連合会	会長	大木 恵	会長
2		前会長	有泉 健一	副会長
3	大野南地区社会福祉協議会	会長	中島 千尋	副会長
4	学校法人相模女子大学	理事(事務局長)	速水 俊裕	副会長
5	女子大通り商工振興会	会長	河内 文雄	副会長
6	大野南地区自治会連合会	副会長	古木 幸一	
7		副会長	渋谷 典彦	
8		副会長	瀬戸 量平	
9	大野南地区民生委員児童委員協議会	会長	青木 智野	
10	相模大野北口商店会	会長	斎藤 誠	
11	相模大野銀座商店街振興組合	事務局長	大木 茂行	
12	相模大野南新町商店街振興組合	副理事長	山科 公次	
13	ポーノ会	役員	田中 修	
14	医療法人社団仁恵会黒河内病院	理事	後藤 一郎	
15	相模原市立谷口台小学校PTA	会長	金子 清美	
16	相模原市立南大野小学校PTA	会長	倉澤 正人	
17	相模原市立谷口中学校PTA	副会長	渋谷 雅子	
18	大野南地区老人クラブ連合会	副会長	畠山 秀美	
19	相模原市立大野南公民館	館長	中村 洋子	
20	相模原市立上鶴間公民館	館長	稲毛 易子	
21	大野南地域包括支援センター	管理者	田中 宣行	
22	上鶴間地域包括支援センター	管理者	今井 英子	
23	経験有識者		新村 玲子	
24	公募		宗形 貴介	
25	公募		吉田 涼夏	

地域活性化事業交付金申請に対する意見について

30 - 3

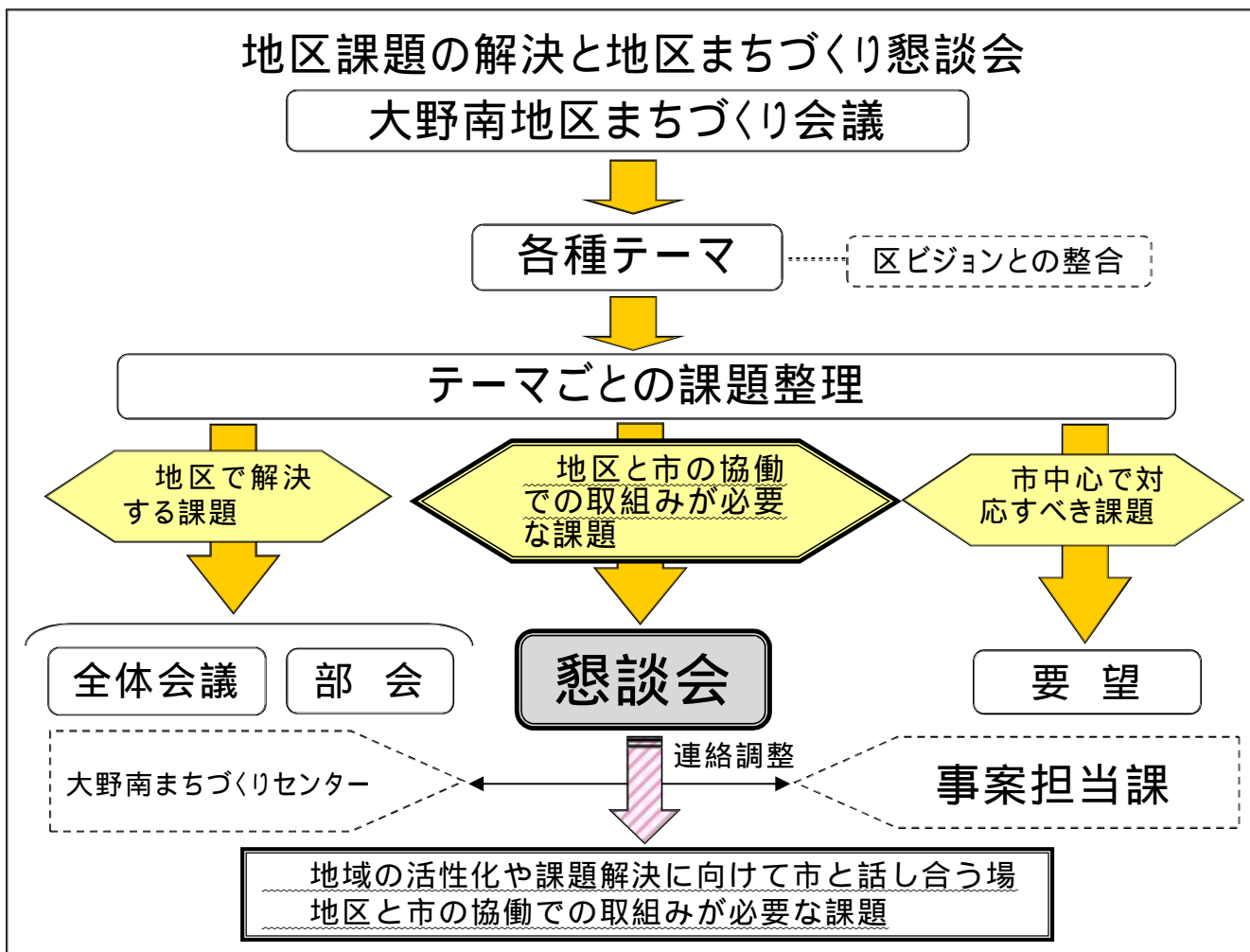
事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in 相模大野」(3年目)													
団体名 構成員数	大野南地区連合自主防災隊	32名												
事業目的	<p>発災時の状況を踏まえ、地域の子もたちにもいざという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催する。</p>													
事業内容	<p>阪神・淡路大震災の被災者の教訓を基に、ゲーム感覚で楽しみながら「消火」、「救出」、「救護」などを学べる防災体験プログラム(水消火器、バケツリレー、ジャッキアップ、防災クイズ等)と、おもちゃの物々交換プログラム「かえっこバザール」を組み合わせで開催する。</p> <p>防災体験プログラムの体験を促す仕掛けとして、おもちゃの交換会「かえっこバザール」を導入し、防災体験プログラムを体験すると、おもちゃと交換ができるカエルポイントが貰えるため、子どもたちは積極的に防災を学ぶ。</p>													
事業費 交付金申請額	<p>事業費：801,000円(交付金申請額：600,000円)</p> <p>主な経費内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>委託料</td> <td>600,000円(NPO法人プラス・アーツ)</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td>9,000円</td> </tr> <tr> <td>スタッフ昼食代</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td>スタッフお茶代</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>会場費</td> <td>97,000円(ユニコムプラザ使用料、会場設営費)</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>60,000円</td> </tr> </table>		委託料	600,000円(NPO法人プラス・アーツ)	保険料	9,000円	スタッフ昼食代	20,000円	スタッフお茶代	15,000円	会場費	97,000円(ユニコムプラザ使用料、会場設営費)	事務費	60,000円
委託料	600,000円(NPO法人プラス・アーツ)													
保険料	9,000円													
スタッフ昼食代	20,000円													
スタッフお茶代	15,000円													
会場費	97,000円(ユニコムプラザ使用料、会場設営費)													
事務費	60,000円													
過年度事業実施 事業費 交付金交付状況 事業効果	裏面のとおり													
特記事項	<p>専門家を招いての防災に関する講演会や、防災ゲーム、防災訓練など、これまでの自主防災組織のメンバーが参加者として自主防災事業に参加するという形式の事業に替わり、各自治会の会長及び防災部長などが主催者(指導者)となり、各ブースの訓練体験プログラムを自分たちで運営するという形式の事業を実施する。</p> <p>そのため、事前に各自治会の会長及び防災部長などを対象とした事業説明会と研修会を開催し、訓練体験プログラムの理解とプログラムの運営・指導の練習を行う。</p>													

平成29年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

申請事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」(2年目)
申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業目的	発災時の状況を踏まえ、地域子どもたちにもいざという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催する。
交付決定日	平成29年6月6日
交付決定額 (事業費)	700,000円(決算746,189円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成29年11月11日(土)にポーノ相模大野で開催した。当日は好天に恵まれ、約800名の親子連れや子ども達の参加があり、大盛況だった。昨年度の反省を活かしてレイアウトや動線に配慮したため、どのコーナーも混雑が無くスムーズな運営ができた。今年度は心肺蘇生法(AED取扱い)訓練を追加し、消火、救出・救助訓練や防災・減災の知恵や技の習得などをゲーム感覚で楽しみながら学んでもらった。</p> <p>自己評価</p> <p>大野南地区では高齢化が進み、自治会員が51%前後である上、自治会主催の防災訓練に参加したことがない、防災に興味がない人も多いので、自治会員という枠を外し、小さい子どもやそのファミリーにも楽しく参加してもらえような防災イベントを開催した。結果、大勢の家族連れにブースを体験してもらい、地域の防災力向上や防災意識の啓発に寄与できた。</p>
市評価	<p>今まで、防災訓練に参加することが少なかった、次世代を担う子どもたちや若いファミリー層などが多く参加し、「楽しみながら防災を学ぶ」という本事業の趣旨に則り、いざという時に自ら判断し、行動することができる「自助」、「共助」の考えに基づいたプログラムを実施することで必要な知恵や技を身に付けるきっかけになったと評価できる。</p> <p>今後も幅広い層の市民に防災を学習してもらうため、事業の継続が望まれる。</p>
備考	

平成 3 0 年度 大野南地区まちづくり懇談会について

- 1 目的
まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地区のまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進することを目的とする。
- 2 実施方法
大野南地区まちづくり会議と市の協働により開催する。
- 3 開催日等
日時：平成 3 0 年 1 1 月 1 3 日（火）午後 7 時から（予定）
会場：南区合同庁舎 3 階 講堂
- 4 進行等
懇談会の進行等は、まちづくり会議の代表者が行う。開催時間は概ね 2 時間。
- 5 出席者
(1) 地区の出席者は、まちづくり会議委員と自治会長。
(2) 市側の出席者は、副市長、南区長、テーマに関連する局長又は部長。また、テーマ関連部署の課長及び職員並びにまちづくり会議事務局の職員も出席する。
- 6 懇談の内容
懇談の内容は、「地域防災」、「高齢者の見守り・子育て環境」、「防犯・交通安全」、「自然環境の保全」、「地域活性化」のほか、地域の課題や地域で取り組むべきこと。



参考

平成29年度まちづくり懇談会

- テーマ1：その他「さらなるごみの減量化・資源化の推進と地域負担の軽減について」
- 課題事項1 収集回収の見直しの効果及び今後の減量化・資源化の推進方策について
 - 課題事項2 ごみ集積所をめぐる様々な問題解決に向けて
- テーマ2：その他「ふれあい広場の管理について」
- 課題事項1 高齢化が進む地域のまちづくり支援について
 - 課題事項2 ふれあい広場の使用に伴う物損事故への対応について

平成28年度まちづくり懇談会

- テーマ1：地域防災「さらなる地域防災力の強化に向けた地域での取組みについて」
- 課題事項1 「共助」に対する市の支援について
 - 課題事項2 「防災空白地帯」における防災対策や地域における避難所の設置について
- テーマ2：高齢者の見守り・子育て環境「高齢者がいきいきと安心して暮らすことができるまちづくりについて」
- 課題事項1 高齢社会に向けた地域での環境づくりについて
 - 課題事項2 新しい介護予防・日常生活支援総合事業について
 - 課題事項3 民生委員・児童委員について

平成27年度まちづくり懇談会

- テーマ1：防犯・交通安全「安全・安心なまちづくりについて」
- 課題事項1 安全・安心まちづくり推進体制の強化について
 - 課題事項2 自転車交通事故対策について
- テーマ2：地域活性化「地域活動を推進する環境づくりについて」
- 課題事項1 皆で担うまちづくりの推進について
 - 課題事項2 市民活動団体への活動の場の提供について

平成26年度まちづくり懇談会

- テーマ：地域の活性化「地域コミュニティの醸成について」
- 課題事項1 自治会加入促進と自治会未加入者の地域活動への参加について
 - 課題事項2 マンション自治会の設立、住民の地域活動への参加について
 - 課題事項3 災害時の地域コミュニティについて

平成25年度まちづくり懇談会

- テーマ：高齢者の見守り・子育て環境「高齢者の暮らしやすいまちづくりについて～高齢者の移動手段を中心に～」
- 課題事項1 高齢社会を見据えたコミュニティバスの運行について（1）
 - 課題事項2 高齢社会を見据えたコミュニティバスの運行について（2）
 - 課題事項3 神奈川中央交通バス「中和田循環」の路線拡張について
 - 課題事項4 福祉的輸送手段について
 - 課題事項5 企業の協力による買い物難民対策について

平成24年度まちづくり懇談会

- テーマ：地域活性化「大野南地区の活性化について」
- 課題事項1 相模大野の賑わい・魅力づくりについて
 - 課題事項2 災害に強いまちづくりについて

まちづくり懇談会の議題について

テーマ・題材の提案状況

テーマ	提案数	題材	提案団体等
地域防災	2	2	町田ハイツB地区自治会、文京中央自治会
高齢者の見守り・子育て環境	1	1	大野南公民館
防犯・交通安全	-	-	
自然環境の保全	-	-	
地域活性化	2	2	文京中央自治会、 大野南地区社会福祉協議会
その他	1	1	上鶴間高齢者支援センター、 大野南高齢者支援センター（連名）
合計	6	6	

テーマ・題材の概要

【 地域防災 】

題材（提案団体等）	役員会での主な意見
<p>自主防災組織活動事業費補助金の分割使用に関する提案（町田ハイツB地区自治会）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の補助金制度では、自治会員の少ない場合「補助金額も少ないため購入品が少額にて購入できる物品にある程度限定されてしまいます。 <p>防災倉庫、仮設トイレ、テント等の比較的金額の大きい物品の購入には活用されにくい面があります。</p> <p>結果的に食料品、飲料水等の購入単価の低い商品の購入に充填されることとなります。</p> <p>本来、食料、飲料水等は各家庭で備蓄すべき性格の物品であり「自主防災隊」の保有増加は住民の意識が「自主防災隊」依存に陥る危惧があります。</p>	

題 材（ 提 案 団 体 等 ）	役員会での主な意見
<p>「自主防災隊」としては、むしろ防災倉庫、仮設トイレ、テント等の高額品ですが住民全体に必要な物品を備蓄する必要があると考えます。</p> <p>そこで、「自主防災組織活動補助金」の5年程度の分割補助をしてはどうかと提案いたします。</p> <p>町田ハイツ自主防災隊の場合、平成30年度の補助金は¥24,000です。</p> <p>補助金全額支給には購入品¥48,000が必要です。</p> <p>5年分の金額¥240,000での購入を認めてはどうかと考えています。つまり、毎年¥24,000を5年間で¥120,000の補助金を支給するとの提案です。</p> <p>これにより、各自主防災隊は計画的に必要な品を補助金活用により準備できることとなります。</p> <hr/> <p>通学路におけるブロック塀等の危険箇所の対応について（文京中央自治会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害発生時におけるブロック塀等の危険箇所のチェック認定を地区と市の協働での取り組みで迅速化を図る。 <p>防災マイスターの活用（組織的、横断的）、ブロック塀改修の予算化も検討。</p>	<p>防災・減災に関する取り組みは、大変重要な課題であり、総合的な課題として採り上げた方が良いのではないかと。</p> <p>自治会長会議等でも防災に関する意見が複数出ていることから、それらの意見も取り入れたほうが良いと思う。</p>

【 高齢者の見守り・子育て環境】

題 材（ 提 案 団 体 等 ）	役員会での主な意見
<p>こどもの居場所の充実について（大野南公民館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相模原市小中学校の児童生徒の実態について伺う <ol style="list-style-type: none"> 1．体力 2．学力 3．登校状況・不登校・登校しぶり 4．こどもの貧困率：6人に1人というが？ 南区では？ 	

題 材（ 提 案 団 体 等 ）	役員会での主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と地域社会の連携について <ol style="list-style-type: none"> 1．実態について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校評議員制度 ・ 登下校見守り隊 ・ 学校ボランティア 2．こどもと地域の関係について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の考え方 ・ 地域に何を期待しているか？ 期待されているか？ ・ こどもの居場所について <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理と運営の在り方について ・ こどもにとって居心地がいい場所か？ <ol style="list-style-type: none"> 1．学校 2．こどもセンター 3．児童館 4．公園 5．こどもの広場 	<p>当地区は大型マンション等の建築により、若い世代の転入者が増えており、子どもの居場所に関する課題は、地域の重要課題である。</p>

【 地域活性化 】

題 材（ 提 案 団 体 等 ）	役員会での主な意見
<p>大野南地区の活性化について（文京中央自治会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成24年度のまちづくり懇談会（5年間の振り返りと今後） ・ 少子高齢化、買い物難民、コンパクトシティの観点から。 	<p>次期総合計画の策定に向けた検討を行っており、その結果を自治会長会議で報告する。</p>
<p>住民にわかりやすい行政組織の下で、大野南地区のまちづくり活動とその活性化の推進を（大野南地区社会福祉協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本来はこの課題は市中心で対応すべき課題であることは理解しております。しかしながら、政令市発足後、行政改革による市民サービスの在り方・三区制の施行後、一向に進まない各区への権限委譲と業 	

題 材（ 提 案 団 体 等 ）	役員会での主な意見
<p>務移管による住民サービスの向上・相変わらぬ縦割り部門の業務遂行と広域の見地からの調整機能の欠如・一方通行的な指示出しに対するフォローのなさなど、行政組織が一体となり、目に見える形で市民サービスの向上や課題に取り組んでいる姿が見られません。</p> <p>「なぜか？」相模原市総合計画・都市計画・福祉計画などを立案・推進する上で、以下の事情・要件がネックとなっているように思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．大型プロジェクト構想（リニア計画・基地返還用地活用など）とコンパクトシティ（生活圏域まちづくり）計画のビジョン（未来像）がフィットしない。（政令市として成長はしたが、中身が伴っていない） 2．行政区分（区・町・丁目など）の整備が出来ていない。 3．大圏域（全市）・中圏域（3区）・小圏域（22地区）・日常生活圏域（29地区）において、市は執行機関としてのガバナンス（統治）とコントロール（制御）が全くできていない。 <p>行政区・小学校区・中学校区・公民館区・福祉区分・防災避難所区分の整備統合を これらが整備改善されれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．相模原市の未来が開け、活性化し、明るい町になる。 2．市内で効率的な雇用が増え、労働に活力が増す。 3．行政改革が進み、無駄なコストが減る。 <p>官民組織の総合力を発揮し、各任意団体との業務提携推進を（自治会連合会・民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会など）</p>	<p>テーマとして大き過ぎるが、今後の市のあり方として重要な課題である。</p> <p>今回寄せられた多くのテーマに関わる課題であることから、より具体的なテーマの中で、市に問いかけた方が良いのではないか。</p>

【 その他 】

題 材 (提 案 団 体 等)	役員会での主な意見
<p>ゴミの戸別収集について (上鶴間高齢者支援センター、大野南高齢者支援センター)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 高齢者は加齢に伴い、足腰が弱ってしまう方もいます。外出が困難になってしまうことで、自立していた生活が難しくなることもあります。その中で、ゴミ出しに困っている方の相談を受けることもあります。また、私どもの業務の一環で、自宅に訪問すると、ゴミ屋敷になってしまっている方もおります。 <p>高齢者全員を対象とすることではなく、必要とする方に対して検討ができないでしょうか。</p> <p>効果としては、高齢者の見守りや安否確認ができること、ゴミ屋敷になってしまう前に、予防的な気付きができることが考えられると思います。</p>	<p>昨年度のまちづくり懇談会で検討中とのことであったことから、担当課に進捗状況を調査・確認する。</p> <p>次期総合計画の策定に向けた検討を行っていることから、その中で福祉の観点からの地域課題として挙げてみてはどうか。</p>